

講師 島蘭進 先生

(東京大学名誉教授)

本研究所では特別講師に島蘭進先生をお迎えし、下記の日程で講義を開催いたします。どなたでも聴講できますので、ふるってご参加ください。

(聴講無料・予約不要)

[時間] 13:20～15:00 (3時限目)

[場所] 総合仏教研究所研究室1 (3号館4階)

第1回目	5月15日(木)	グリーフケアへの関心
第2回目	6月19日(木)	グリーフケアへの関心
第3回目	7月3日(木)	魂のふるさと(i)
第4回目	7月17日(木)	魂のふるさと(ii)
第5回目	10月2日(木)	無常観と日本人(i)
第6回目	11月20日(木)	無常観と日本人(ii)
第7回目	12月4日(木)	「うき世」の思想
第8回目	12月18日(木)	近代人と死生観(i)
第9回目	1月8日(木)	近代人と死生観(ii)
第10回目	1月15日(木)	死にどう向き合うか?

日本人の 死生観を問い直す

【講義概要】

地縁・血縁が薄くなってきて人が孤立しがちな現代社会だ。とりわけ死に直面すると孤独を強く意識する。死生観が問われることにもなる。そのようなとき、親や先祖から受け継がれてきた仏教行事や文化のなかで伝えられてきた仏教思想を深く理解し、自分なりに受け止めたくなる。この講座では、日本人の死生観を振り返り、その背後にある仏教文化について、現代的な観点から捉え返していく。とくに人々が親しんできた物語や詩歌などの文芸に注目する。そして、宗教から遠ざかっていくように見える現代社会において、なお宗教やスピリチュアリティが求められるわけについても考えていきたい。

【問い合わせ先】 大正大学総合仏教研究所 03-3918-7311(代表)

http://www.tais.ac.jp/library_labo/sobutsu/

※日程等に変更が生じた場合は、随時、上記HP上にてご案内いたします。